

水稻育苗箱**播種時処理**殺虫殺菌剤



アプライ[®] フェルテラ[®]

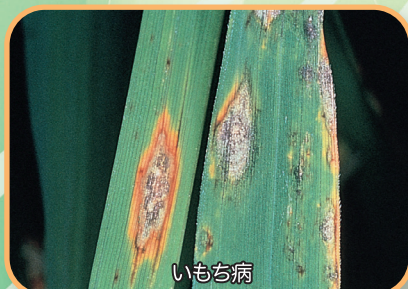
Powered by
RYNAXYPYR[®]
Insecticide

粒剤

高密度播種
対応

いもちに負けない稲になる
抵抗性害虫にも有効

WCS用稲
にも使えます※



いもち病



ニカメイチュウ



フタオビコヤガ



白葉枯病



イネミスゾウムシ



イネドロオウムシ

アプライ[®]が既存薬剤の耐性いもち病菌に、
フェルテラ[®]が抵抗性イネドロオウムシに効く！

水稻主要初期害虫、チョウ目害虫も同時防除



NICHINO

日本農薬株式会社

アプライ フェルテラ[®]

粒剤

水稻育苗箱播種時処理 殺虫殺菌剤

有効成分 クロラントラニリブロール：0.75% [殺虫剤分類] 28
チアジニル：12.0% [殺菌剤分類] P3

安全性 普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

特長

- 1 播種時処理により、いもち病、白葉枯病、
水稻主要初期害虫等を同時に防除、
効果持続性にも優れます。
- 2 アプライは、抵抗性誘導タイプで耐性菌出現
リスクが低い薬剤です。また、既存薬剤の
耐性いもち病菌に対しても優れた効果を
示します。
- 3 フェルテラは、幅広い害虫に活性があり、
既存薬剤に抵抗性を示すイネドロオイムシ
に対しても有効です。

【適用病害虫および使用方法】

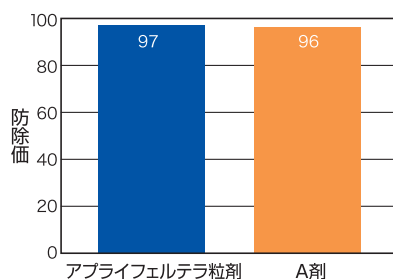
2022年7月適用拡大

〈2022年7月現在の登録内容〉

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	クロラントラニリブロール を含む農薬の 総使用回数	チアジニルを 含む農薬の 総使用回数
稲（箱育苗）	いもち病	育苗箱 （30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ） 1箱当り50g	は種前	1回	本剤の所定量を育苗箱の床土 又は覆土に均一に混和する	1回	3回以内 （移植時までの 処理は1回以内、 本田での散布は 2回以内）
	イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ				本剤の所定量を育苗箱の 床土に均一に混和する		
	いもち病、イネミズゾウムシ、 イネドロオイムシ、白葉枯病、 もみ枯細菌病、ニカメイチュウ、 ツマグロヨコバイ、フタオビコヤガ、 コブノメイガ、イネヒメハモグリバエ		は種時 覆土前		本剤の所定量を育苗箱の 上から均一に散布する		
	いもち病	高密度には種する 場合は1kg/10a 育苗箱 （30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ） 1箱当り50～100g	は種前		本剤の所定量を育苗箱の床土 又は覆土に均一に混和する		
	イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ				本剤の所定量を育苗箱の 床土に均一に混和する		
	いもち病、イネミズゾウムシ、 イネドロオイムシ、白葉枯病、 もみ枯細菌病、ニカメイチュウ、 ツマグロヨコバイ、フタオビコヤガ、 コブノメイガ、イネヒメハモグリバエ		は種時 覆土前		本剤の所定量を育苗箱の 上から均一に散布する		

試験成績

■ 稲／いもち病（葉いもち）



試験場所：秋田県農林水産技術センター
農業試験場（2008年）

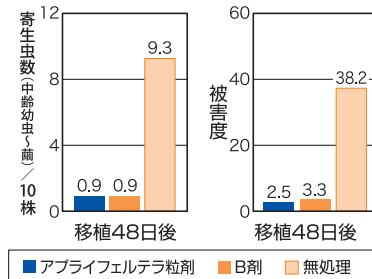
品 種：ナツミノ

発生状況：多発生（葉いもち）

試験概要：

移植 5/16
処理 アプライフェルテラ粒剤（4/10 50g/箱）、
A剤（5/16）
調査 7/26（移植71日後）

■ 稲／イネドロオイムシ



試験場所：（社）宮城県植物防疫協会
（2008年）

品 種：ひとめぼれ

発生状況：中発生

試験概要：

移植 5/11
処理 アプライフェルテラ粒剤（4/13 50g/箱）、
B剤（5/11）
調査 6/28（移植48日後）

正しく安全にお使いいただくために

- 所定量を秤量し、均一に処理してください。
- 床土または覆土に混和処理する場合、処理後速やかに使用してください。また処理した床土または覆土を放置しないでください。
- 使用にあたり、極端な低温または高温条件下での育苗では生育抑制を生じるおそれがあるので、適切な温度管理につめてください。
- 水分の極端に多い特殊な育苗条件（プール育苗等）や培土種によっては軽微な葉害が認められることがありますが、その後回復するので通常の管理を維持してください。
- 育苗期間中に黄化症状が認められることがありますが、移植後回復するので通常の管理を行ってください。
- 育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5ℓ）1箱当りに乾粒として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの量を50から100gまでの範囲で調整してください。

- 本田の整地が不均整な場合は、葉害を生じるおそれがあるので、代かきはいないに行い、移植後に田面が露出しないよう注意してください。
- さく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布してください。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の受診を受けてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所に置かないでください。

レイミーの農薬チャットルーム

ホームページに遊びにきてね！



日農ホームページ



NICHINO

日本農薬株式会社

TEL:0570-09-1177

URL:https://www.nichino.co.jp/

2023年6月作成版（SPA）BK12306S

東京都中央区
京橋1丁目
19番8号